令和５年度

小学校第６学年

国　語

注　意

１　先生の合図があるまで、中を開かないでください。

２　調査問題は、１ページから22ページまであります。問題用紙のあいている場所は、下書きや計算などに使用してもかまいません。

３　解答用紙は、両面に解答らんがあります。解答は、全て解答用紙に書きましょう。

４　解答は、ＨＢ以上のこさの黒えんぴつ（シャープペンシルも可、ボールペンは不可）を使い、こく、はっきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。

５　解答時間は、45分間です。解答が早く終わったら、よく見直しましょう。

６　机（つくえ）の上の「個人番号シール票」をよく見て、解答用紙に、組、出席番号、性別、個人番号をまちがいのないように書き、個人番号シールを１枚（まい）はりましょう。

７　問題用紙の最後に、この調査問題について質問があります。解答時間終りょう後、先生の指示で回答しましょう。

資料１１

調査問題は、次のページから始まります。

1

川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、**【川村さんの考え】**と川村さんが選んだ**【カード①】**から**【カード⑤】**です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【川村さんの考え】

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて、問題点とその解決方法を書こう。



川村さん

【カード①】

6月24日
・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
・このまま雑草が増えたら米のしゅうかくにえいきょうするのではないかと心配だ。

【カード②】

6月30日
・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
・調査方法　週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
・調査きかん　7月1日～15日

【カード③】

7月19日
・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。
・雑草の量と米のしゅうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】

7月20日
[農家の石山さんのお話]
・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日
[学校でできる解決方法]
・雑草取りの回数を増やす。
・雑草取りの人数を増やす。

一　川村さんは、カードを選んだ際に、**【カード②】**の――部と、**【カード③】**の……部に関係があることに気づきました。その説明として最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　**【カード②】**の――部は部分、**【カード③】**の……部は全体について書かれている。

2　**【カード②】**の――部は結果、**【カード③】**の……部は原因について書かれている。

3　**【カード②】**の――部は目標、**【カード③】**の……部は計画について書かれている。

4　**【カード②】**の――部は考え、**【カード③】**の……部は事例について書かれている。

二　川村さんは、選んだカードをもとに、次の**【川村さんの文章】**の［　　］に学校の米作りの問題点とその解決方法について書こうとしています。**あなたが川村さんなら、**［　　］に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

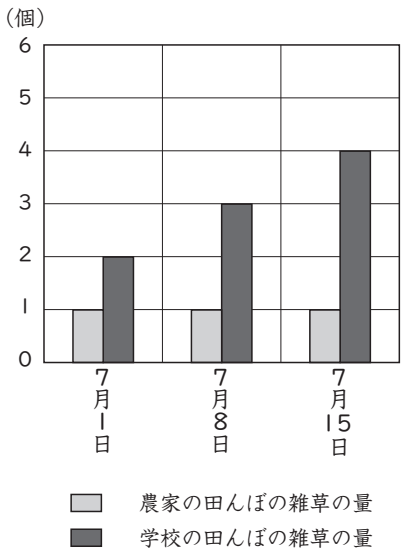
今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下じゅんに学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア<u>いがい</u>に雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイ<u>くらべて</u>みました。ウ<u>きかん</u>は7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

［　　］

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量



10㎡あたりの雑草を取って同じ大きさのバケツに入れ、その個数を雑草の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下じゅんにお米をしゅうかくすることができました。

〈条件〉

○　学校の米作りの問題点については、【川村さんの文章】のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と【カード④】のそれぞれから分かることを書くこと。

○　問題点の解決方法については、【カード⑤】をもとにして書くこと。

○　六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

◆

60字

100字

※上の原稿（げんこう）用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

三　川村さんは、**【川村さんの文章】**を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた――部**ア**、**イ**、**ウ**を漢字に書き直すことにしました。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1)　――部**ア**、**ウ**を漢字でていねいに書きましょう。

雑草取りを続けたのですが、**ア**いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。

ウきかんは7月1日から15日までです。

(2)　――部イを書き直したものとして適切なものを、次の1から3までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

雑草の量について、農家の田んぼとイくらべてみました。

1　比らべて

2　比べて

3　比て

四　川村さんは学習をふり返り、**【川村さんの文章】**の特徴をまとめています。その説明として最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　野菜作りなどとくらべた米作りのよさをすいせんしている。

2　調査方法についてよりよい手順を提案している。

3　調査で明らかになったことを整理して説明している。

4　予想される反論に対する自分の考えを主張している。

調査問題は、次のページに続きます。

2

相田さんの学級では、健康に過ごすために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめることにしました。次は、**【相田さんの考え】**と、相田さんが知りたいことを調べるために選んだ**【資料１】**、**【資料２】**です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【相田さんの考え】

ぼくは、運動の面から考えてみたいな。運動をすると健康にどんないいことがあるのかな。



相田さん

【資料１】運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで適度に運動をすることが大切だと言われています。

私たちが日ごろ行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさんの酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋肉の力を高める運動などです。

生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

【資料２】運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくろう！

運動には、筋力や持久力などを高めるほかに、病気への抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちがリフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするといいの？

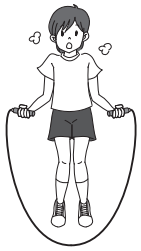
運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の外遊び、犬の散歩、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例



軽いジョギング



縄とび（続けてとぶ）

主に筋力を高める運動の例



腹筋運動



腕立てふせ

一　相田さんが選んだ**【資料１】**と**【資料２】**に書かれている内容として最も適切なものを、次の**１**から**４**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

１　運動の効果や種類

２　運動の回数や場所

３　運動の場所や種類

４　運動の効果や回数

二　相田さんは、**【資料１】**と**【資料２】**を読んで分かったことをメモにまとめています。次の**【相田さんのメモ】**の　**ア**　に当てはまる内容として最も適切なものを、下の**１**から**４**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【相田さんのメモ】

◇持久力を高める運動
たくさんの酸素を取り入れながら続ける
・軽いジョギング
・縄とび（続けてとぶ）

ア

１

◇体のやわらかさを高める運動
しゅん間的に大きな力を出す
・ふっきん運動
・うで立てふせ

２

◇体のやわらかさを高める運動
しゅん間的に大きな力を出す
・うで立てふせ
・縄とび（続けてとぶ）

３

◇きん力を高める運動
しゅん間的に大きな力を出す
・ふっきん運動
・うで立てふせ

４

◇きん力を高める運動
たくさんの酸素を取り入れながら続ける
・ふっきん運動
・うで立てふせ

三　相田さんは、食事の面から健康について考えている友達の話を聞いて、**【資料３】**に興味をもちました。次は、相田さんが、四角や丸で囲んだり線でつないだりして整理している**【資料３】**です。相田さんは、何をどのように整理していますか。その説明として最も適切なものを、あとの**１**から**４**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【資料３】相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き

規則正しく食事をとることにより、脳が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものや好きなものばかり食べていると、栄養がかたよってしまい、つかれやすくなったりいらいらしたりします。

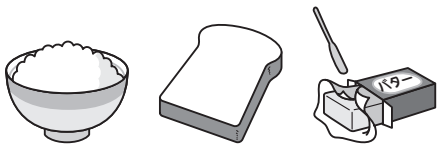
食品は、栄養素の主な働きによって、下のように、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主にエネルギーのもとになります。肉や卵などは、主に体をつくるもとになります。筋肉がついたり、けがが治りやすくなったりします。野菜や果物などは、主に体の調子を整えるもとになり、病気にかかりにくくなります。

〈栄養素の主な働きと食品の例〉

主にエネルギーのもとになる

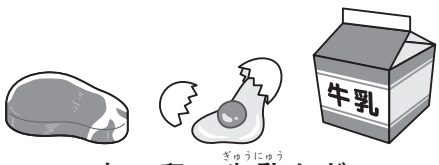




米、パン、バターなど

主に体をつくるもとになる

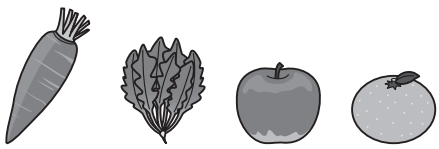




肉、卵、牛乳など

主に体の調子を整えるもとになる





野菜、果物など

1　自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

2　自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

3　自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

4　自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線でつないで整理している。

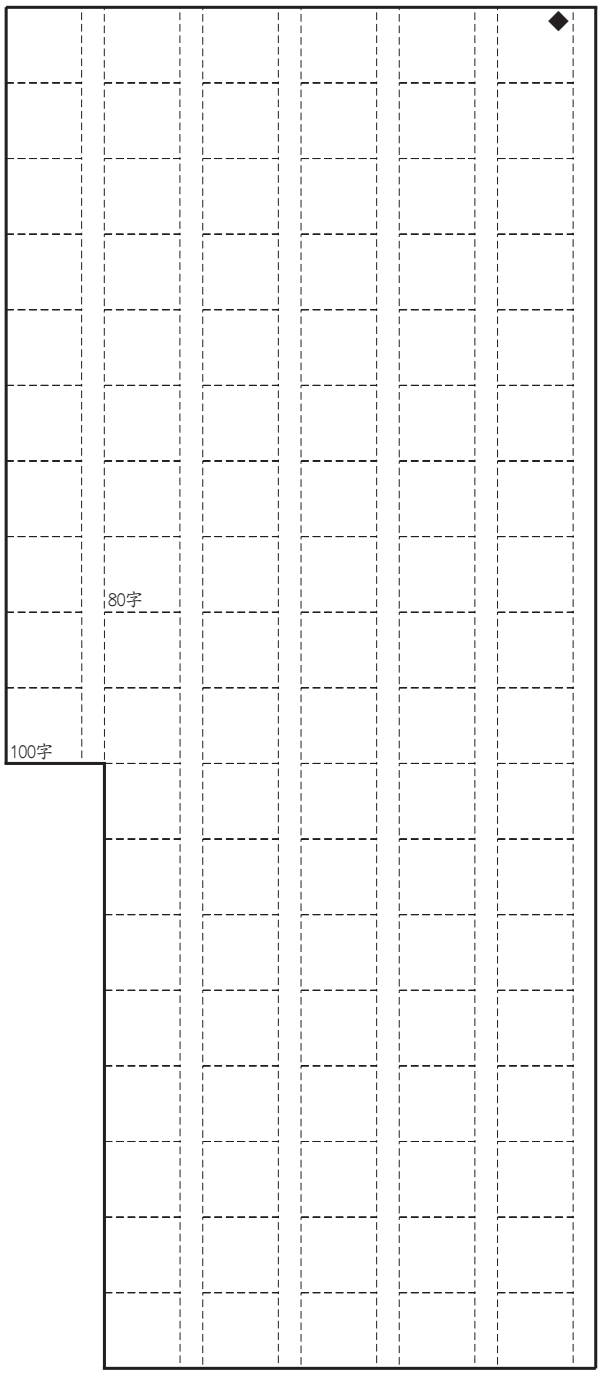
四　相田さんは、**【資料１】**、**【資料２】**、**【資料３】**を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめようとしています。**あなたなら**、どのようにまとめますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- **資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。**
- **分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。**
- **八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。**

※左の原稿（げんこう）用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。



調査問題は、次のページに続きます。

3 谷さんの学級では、学校ボランティアの人たちを全校にしょうかいするために、自分の相手を決めてインタビューをすることにしました。次は、**【谷さんの考え】**と**【インタビューの様子】**です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【谷さんの考え】

学校ボランティアの中で、登下校でお世話になっている見守りボランティアの方は、毎朝早くから大変そう。どうして続けているのだろう。私の通学路に立ってくださっている寺田さんと山本さんにインタビューをして、お二人の思いを聞いてみよう。



谷さん

【インタビューの様子】

谷さん



こんにちは。いつも私たちの登下校を見守ってくださり、ありがとうございます。今日は、お二人からお話を聞きたいので、どうぞよろしくお願いします。お二人は、毎朝七時三十分から活動されているそうですね。大変ではありませんか。

寺田さん



確かに朝早いのは大変です。でも、私は、子供たちに安全に登下校をしてほしいと思っているのです。

山本さん



私は、最近この地域に住むようになり、見守りボランティアを始めました。慣れないうちは大変でしたが、今では元気をもらっています。

谷さん



そうなのですね。元気をもらっているということについて、もう少しくわしく教えてください。

山本さん



子供たちから、「いつも見守ってくれてありがとう。」と声をかけてもらうことがあり、そんなときは元気が出てきます。町で出会った保護者の方が「いつもありがとうございます。」と言ってくださることもあり、やりがいを感じています。

谷さん



アやりがいというのは、ボランティアをやっていてよかったということだと思いますが、合っていますか。

山本さん



はい、そのとおりです。ボランティアをやって本当によかったと思っています。子供たちの安全を守るために、役に立っていると感じられるので、大変さよりもやりがいのほうが大きいです。

谷さん



なるほど。そうなのですね。

寺田さん



私も子供たちが安全に登下校している様子を見るとうれしくなり、やりがいを感じます。子供たちのすてきな姿（すがた）を見たときには、さらにうれしい気持ちになり、ボランティアをしていてよかったなと思います。

谷さん



イすてきな姿というのは、どのような姿ですか。

寺田さん



一人で下校する友達に声をかけている姿や、上級生が下級生の手を引いて歩いている姿などです。そんな姿を見ると、とてもうれしい気持ちになります。

谷さん



そんなふうに言っていただけて、私もうれしいです。
はじめは、見守りボランティアの仕事は大変なことばかりだと考えていましたが、

全校のみんなに伝えたいです。ありがとうございました。

一　**【インタビューの様子】**で、谷さんが、――― 部**ア**と ――― 部**イ**のように質問した理由について、次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1)　谷さんが、――― 部**ア**のように質問した理由として最も適切なものを、次の**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　相手の活動の予定を、より具体的に知るため。

2　相手の話の内容を、より具体的に知るため。

3　自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。

4　自分の行動が可能かどうかを相手に確かめるため。

（2）谷さんが、――― 部イのように質問した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　相手の活動の予定を、より具体的に知るため。

2　相手の話の内容を、より具体的に知るため。

3　自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。

4　自分の行動が可能かどうかを相手に確かめるため。

二　谷さんは、寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを**【インタビューの様子】**の［　　］で話そうとしています。**あなたが谷さんなら、**どのように話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○　**寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを書くこと。**

○　**【インタビューの様子】の、寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書くこと。**

○　**書き出しの言葉に続けて、四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。**

※左の原稿（げんこう）用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

はじめは、見守りボランティアの仕事は大変なことばかりだと考えていましたが、

40字

60字

三　谷さんは学習をふり返り、インタビューをするときの敬語の使い方について、ノートにまとめています。次の**【谷さんのノートの一部】**の［ア］と［イ］に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、あとの**1**から**4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【谷さんのノートの一部】

聞きのがしたことを相手に確かめるとき

○○さんが［ア］ことを、もう一度［イ］いいですか。

1　**ア**　おっしゃった　　**イ**　うかがって

2　**ア**　申した　　**イ**　お聞きになって

3　**ア**　おっしゃった　　**イ**　お聞きになって

4　**ア**　申した　　**イ**　うかがって

これで、国語の調査問題は終わりです。
最後に質問があります。解答時間
終りょう後、先生の指示で回答しましょう。

【質問】 ※解答時間終りょう後、先生の指示で回答しましょう。

それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの考えに最も近いものを１つ選んで、解答用紙の □ の中の回答らんに、その番号（数字）を書きましょう。

⑴ 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

１ 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した

２ 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中（とちゅう）であきらめたりしたものがあった

３ 書く問題は全く解答しなかった

⑵ 解答時間は十分でしたか。（45分）

１ 時間が余った

２ ちょうどよかった

３ やや足りなかった

４ 全く足りなかった